



# Bell Friend

鈴鹿短期大学 鈴友会会報 卒業記念号  
平成27年3月18日発行



皆様のご壮健・ご活躍を祈念します



鈴友会名誉会長・学長

出雲 敏彦

2年間の学業を終えられ、卒業を迎えられる皆さんに、心からお祝いを申し上げます。新しい人生のスタートにあたって、学生生活を支えていただいたご両親に深い感謝の気持ちを抱いていると信じます。

これから「社会人」となるわけですが、このことは社会が卒業生の皆さんを1人前と認め、そのように扱うことを意味します。学生時代とは違うのです。社会が1人前と認めることは、社会生活を営む上で完全に「自由な人間」として扱われることを意味します。しかし皆さんが手にするその自由とは、盾の両面のように責任と不可分です。これから後は、どうか言動に慎重であって欲しいと思います。

進む道はそれぞれ異なりますが新しい旅立ちをするにあたって、皆さんが平等に与えられているのは「若さ」という特権です。肉体の機能は強くしかも柔軟です。知的にも、時代の要求するものを素早く察知して、吸収できますし、流行にも敏感に反応するしなやかな感性と適応力をもっています。そのような能力も、何の努力もしないでいると、すぐに錆びついてしまいます。したがって、社会人となってから地道に勉強する人と、それを怠る人とは、あつという間に学生時代の何倍もの差がつくことになります。

社会に巣立つ餌として、つぎの神話を贈りたいと思います。「人間」を意味するギリシャ語、「アントロポス」の語源について、多くの説がありますが、その1つに「上を見る」という解釈があります。動物は常に下を見て餌を探さねばなりません。人間だけが、2本足で立って「上を見る」存在なのです。人間を超える大きな存在を求めるのです。「衣食住」は「手段」であって、自己目的に転化してしまうと動物と異なるところがないのです。だからこそ人間だけが宗教心や人の道を抱く存在なのです。

人を愛し、人に信頼され、そして人に愛されるような人生を築いていかれるようにと、心から祈ります。



鈴友会会長

増田 文子  
(昭和44年度卒業)

卒業生の皆様、おめでとうございます。

恩師をはじめ、ご家族様にとっては、まちこがれた皆様方の晴れ姿。感慨深いものがお有りになると思います。学生生活はいかがでしたか。期間は短いかもかもしれませんが、されど2年間ということ、充実した実り豊かな日々であったと確信します。かたや世間では、景気の良しあしがとりあげられていますが、就活はいかがでしたでしょうか。皆様にとっては、これからが本番。何物にも代えがたい、若さと、知識を武器に、果敢に実社会に雄飛されることを期待するひとりです。

昨年の秋、同窓会の総会を開催し、旧交を温める機会を持ちました。皆様もご存知のように、わが母校には、今回の卒業式で48回目という歴史があります。今回の総会で感じられたのが、「つながりが大事にされている」ということでした。仕事の事、家族の事、自分が岐路に立った時、そっと救いの手を差し出してもらったのが短大時代の友だった。そのおかげで今の自分がある。というのです。つながりというものは、一朝一夕にできるものではありません。誠実に積み重ねて培っていく実証であり、無形の財産ともいえるべきものだと思います。卒業される皆様も、友とのつながりに対して、この機会に、自問自答していただければいかがでしょうか。

私たち鈴友会には、母校の発展を旨に、同窓生相互の連携を図る役目があると思っています。それには皆様方のお力添えが不可欠になってきます。期待をしています。それに、2年周期で総会を開催しており、平成28年がその時期にあたります。どうかその折は、職場の情報、ご自分の近況等をお聞かせください。お待ちいたしております。

皆様方のさらなるご活躍をお祈りいたします。



# ❀ 巣立つ皆さんへ・・・贈る言葉 ❀

## 生活コミュニケーション学科 生活コミュニケーション学専攻 (桜井 秀樹)

ご卒業おめでとうございます。

勉強の面白さは大学3年生以降に気づくことがあるように思います。それは、基礎ができて、学問の体系、教科の関連がわかることが1つの理由です。ですから、あと1、2年みなさんに講義や実習で関わってみたいと思うのですが、専攻科に進学する人を除いては、なかなかそのような機会はありません。社会人1年目は大変なことも多いと思いますが、鈴鹿短大の公開講座やシンポジウムなどを活用していただき、卒業後も勉強を続け、さらに上をめざしてください。



## 生活コミュニケーション学科 食物栄養学専攻 (乾 陽子)

ご卒業おめでとうございます！この2年間でみなさんがそれぞれ成長し、いい顔で巣立っていくことをうれしく思います。学んだことを活かしていくのはこれからです。みなさんならきっとできますよ！そして、またいつか、さらに成長した皆さんと会える日を楽しみにしています。

## 生活コミュニケーション学科 こども学専攻 (田島孝次郎)

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。短大の2年間の生活は、きっとあっという間に過ぎたのではないのでしょうか。楽しかったことや悲しかったこと、授業や実習でのいろいろな思い出や経験を糧に、実社会に出てからも前向きに進んでください。そして、今度は社会人として得た経験を後輩に伝えに来てください。



## 専攻科 健康生活学専攻 (大野 泰子)

短期大学課程と専攻科課程の4年間で本学で学ばれてのご卒業、心よりお祝い申し上げます。専攻科では本格的な研究方法の座学から、各自が文献研究や調査など主体的に真剣に取り組まれ、その成果として学会発表を経験し、論文の完成がありました。卒業後もさらに進化、深化し、真価のある養護教諭(人間)としての成長を応援しております。



### ～幹事紹介～

平成26年度 卒業生130名は、本日鈴友会に入会します。

生活コミュニケーション学専攻 鈴木 麻美、庄司 万里子  
食物栄養学専攻 ..... 甲斐 千奈津、小林 絵里香  
こども学専攻 ..... 三船 紗也香、望月 エリカ  
健康生活学専攻 ..... 中井 彩乃

### 鈴友会事務局便り

卒業後、鈴友会からご連絡をさせていただくこともありますので、住所・改姓・電話番号など連絡先に変更がありましたら、鈴友会事務局までご連絡をお願いします。皆さん、時々クラス会を開催して、近況を把握してください。クラス会報告、近況報告、随時受け付けております。皆さんで楽しい会報を作りましょう。

### 鈴友会(同窓会)事務局

〒510-0298 鈴鹿市郡山町663-222 鈴鹿短期大学内 Tel (059) 372-3900 Fax (059) 372-3903